



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

健康・医療分野を成長のエンジンに～ 医薬品と医療機器の競争力を高めよ

先月の参院選では6年ぶりに衆参のネジレが解消され、過半数の議席を得ることが出来ました。ようやく安定した政治を取り戻した中で、後は良い「結果」を出していくことにつきます。当座の目標は何と言っても「経済の再生」です。最終的に国民の「所得が伸び」、「家計が潤う」ことが必要です。もう一度、世界一を目指して力強く取り組んでいきます。その最大の柱は、アベノミクスの本丸である「成長戦略」の具体化であり、私が厚労副大臣として担当している「健康や医療分野」はまさに一丁目一番地です。

日本の医療費は約38兆円です。1%でも健康や予防サービスに振り向けられれば、約4000億円もの新たな市場が生まれます。10年後には60兆円近くまで増加が見込まれる医療費ですが、その適正化と抑制のためにも、民間の多様なサービスを創出するチャンスだと捉えるべきです。

医療や福祉分野の就業者数は約800万人で、基幹産業の自動車関連業の550万人を大きく上回っています。健康・医療分野は世界的に市場が拡大している分野であり、これが成長のエンジンになれば、雇用や消費の拡大を通じ、経済の活性化につながることは間違いありません。

今、世界の医薬品や医療機器の市場は、2001年から2010年まで毎年平均8.7%で成長しており、2010年の市場規模は約520兆円（医療サービス約430兆円、医薬品約70兆円、医療機器約20兆円）で、年々増加傾向にあります。日本の医薬品や医療機器の競争力を高めて「稼ぐ産業」にできれば、その資金が国内投資に回り雇用が生まれるだけでなく、新薬開発などが加速し、医療の質の向上も期待できます。

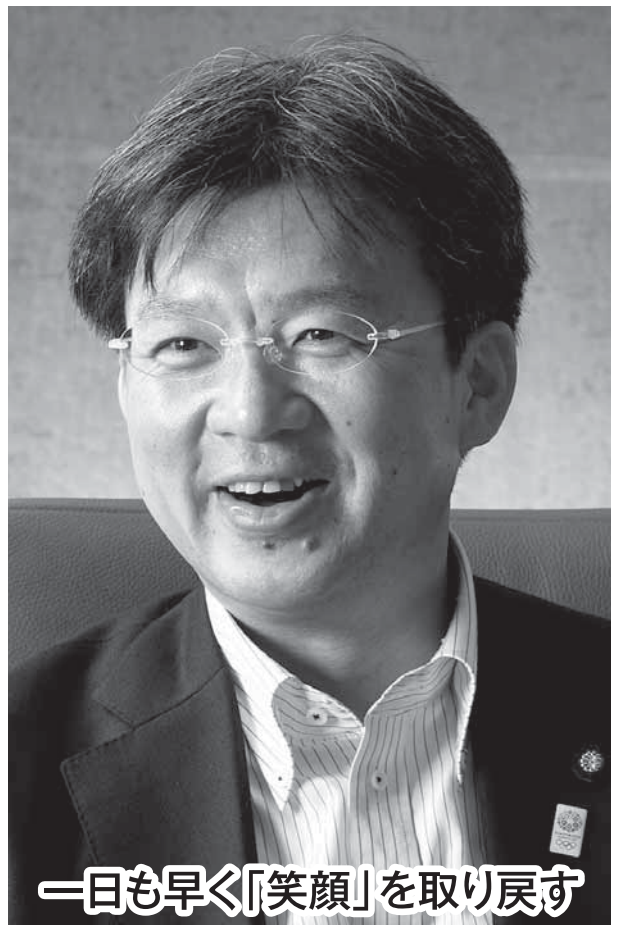
ところが、日本の医療は、「技術で勝って、ビジネスで負ける」深刻な状況にあります。優れた技術を持ちながら、医薬品や医療機器の実用化で後れをとっていることが最大の要因です。残念ながら「日本の医薬品」は、毎年、1.5兆円前後の輸入超過になっており、貿易赤字は近年拡大傾向にあります。世界の製薬会社の売上高ランキングでは、国内医薬品トップの武田薬品工業でさえ、ベストテンに入れず12位。国内2位のアステラス製薬が17位といった有様です。一方、「日本の医療機器」も、毎年、5000～6000億円の輸入超過で、医薬品同様、過去連続して赤字を続けている状況なのです。世界の医療機器メーカーの売上高では、上位10社を欧米企業が占め、日本勢は16位のオリンパスが最高で、東芝19位、20位テルモと大きく後塵を拝しています。

また、今後の研究開発の基盤となる主要な医学の「基礎研究論文」は、日本はかつて世界第3位でしたが、今や4位に転落しており、「臨床研究論文」においても、18位から25位に後退しています。

こうした実態を打開し、成長戦略を着実に具体化していくために、私のものとして2つのヴィジョンを策定しました。ひとつは『医薬品産業ビジョン2013～創薬環境の国家間競争を勝ち抜くために、次元の違う取組を～』、であり、もうひとつは『医療機器産業ビジョン2013～次元の違う取組で、優れた医療機器を迅速に世界の人々に届ける～』です。詳細は是非、厚労省のHPをご覧くださいと存じます。サブタイトルは私がつけました。数値目標を入れた具体的なヴィジョンになっており、この実現のために必要な立法措置を講じて参ります。「行動」なくして「成長」なし。必ずやり遂げます!!



皇太子殿下ご臨席の下、先月、福岡国際会議場で開催された「献血運動推進全国大会」。



一日も早く「笑顔」を取り戻す

厚生労働副大臣
復興副大臣

秋葉賢也

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

平成25年 (自民党公認) 愛知治郎候補が参院選 3選を果たしました!

平成25年度参議院選【宮城】では、秋葉厚生労働副大臣の母校(中央大学)の後輩であり、秋葉副大臣も、トップ当選に向け支援した愛知治郎候補が見事3選を果たしました。愛知候補、本当におめでとうございました!



タウンミーティング (国政報告会)

秋葉厚生労働兼復興副大臣と意見を交換してみなさんの声でより良い政治を創りませんか。

8月23日(金) 泉区

19時 @寺岡市民センター

8月24日(土) 宮城野区

19時 @燕沢コミュニティーセンター

8月26日(月) 若林区

19時 @南材コミュニティーセンター

地元の皆さんから要望を賜りました



秋葉厚生労働副大臣は、同省を訪れた東北六県商工会議所連合会の役員の皆様よりご要望を賜りました。

秋葉副大臣は、官邸を訪れた東北市議会議長会の皆様より、管内閣官房長官とともに、ご要望を賜りました。



社会を明るくする運動

「社明フェスティバル・みやぎ」



「更生保護を考える議員の会」の秋葉事務局局長は、仙台市内で開催された社会を明るくする運動『社明フェスティバル・みやぎ』に出席し、広報活動にも参加させて頂きました。

厚生労働省を代表し秋葉副大臣がご挨拶

第189回 日本柔道整復師会東北ブロック会宮城県大



日本柔道整復師会 東北ブロック宮城県大会

20日、秋葉厚生労働副大臣は、『第56回日本柔道整復師会東北ブロック宮城県大会懇親会』に出席し、柔道整復師療養費適正化等に触れながら、ご挨拶させて頂きました。



第189回 健康保険組合連合会 定時総会

厚生労働省から秋葉副大臣が出席し、会の冒頭で、ご挨拶させて頂きました。

村井嘉浩知事より 県のご要望を賜りました

管内閣官房長官と共に、村井知事よりご要望を賜わる秋葉厚生労働副大臣。

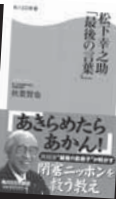


「宮城県と県選出国会議員との意見交換会」に出席致しました。

仙台⇄東京

秋葉厚生労働・復興副大臣の活動報告写真

多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。



『松下幸之助 「最後の言葉」』

秋葉賢也著(角川ISSC新書)定価760円

毎週金曜午後7時30分～

賢ちゃんの いとしのサザンPartⅢ

秋葉賢也のラジオ番組「賢ちゃんのいとしのサザンPartⅢ」が、毎週金曜午後7時30分より、FMいずみ(79.7MHz)にて放送中です。ぜひお聞かせください!

～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、51才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 助松下政経塾卒業(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 厚生労働副大臣および、復興副大臣。衆議院議員(四期目)。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川ISSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。
- 特技:書道二段・空手初段。
- 尊敬する人:マザーテレサ、松下幸之助。
- 好きな言葉:努力+才能<志(努力や才能も大切だが、志に勝るものはなし)



秋葉賢也 事務所

www.akiba21.net

仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

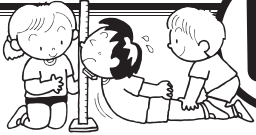
Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円

編集 (株)アクトジャパン

※ お願い 本紙「サポーターズタイムズ」を是非ご購読ください ⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!



ロコモティブ特集



仙台市内の子どもたちの運動器の実態

仙台市医師会の瀬野理事がまとめた報告によると、次のように、市内の子どもたちの運動機能低下が著しいことが分かりました。

- ① 気をつけの姿勢がとれない。
- ② 前にならえができない。
- ③ まっすぐ立てない、座れない。
- ④ 前屈ができない、等…

仙台市で行っている側わん検診を通じて

瀬野理事が、市内の小学校5校、中学校3校で行った運動器検診によれば、**バンザイができない中学生が、中学3年生男子全体の約34%、中学3年生女子全体の約29%**。また、前屈ができない学生については、**小学4年生の男子学生では全体の約40%が、小学校4年生の女子学生で前屈ができない女子学生の割合約9%に比べても、運動機能の低下が著しいことがわかりました。**

子どもたちの「からだがかたい」理由として、テレビゲームやネットの普及による、**運動不足(外遊びの不足)**が指摘されております。

秋葉副大臣が仙台市に確認し、報告頂いた結果では、「**市内の小学校校庭の放課後の開放状況(平日)**」では、子供たちに開放していないと答えた小学校が、**全体の約46%(125校中57校)**に上っています。



秋葉副大臣は、仙台市に対し、放課後の校庭を子どもたちに開放するよう申し入れを行いました。

秋葉厚生労働副大臣に聞く!



Q 秋葉厚生労働副大臣! 「ロコモ」って何ですか?

要介護の原因
運動機能低下

ロコモティブシンドローム(運動機能症候群、ロコモ)は、歩行など日常生活に必要な運動機能が低下した状態を指します。ロコモティブは「**自力で移動する能力がある**」という意味です。ロコモを放置すると寝たきりや要介護につながるので注意しましょう。ロコモの状態にある人は予備軍を含めると、全国で約**4700万人**に達するといわれています。要介護の高齢者のうち約3分の1がロコモだという推定もあります。

ロコモの危険性は、自分で気づくことができます。日本整形外科学会が2007年にまとめた**7つのチェック項目**を活用して、チェックしてみてください。

同学会が発表した今年5月、20代~70代の世代ごとのロコモ危険度を判定できる「**ロコモ度テスト**」は、次の通りです。

- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上るのに手すりは必要である
- 15分くらい続けて歩くことができない
- 横縦歩道を青信号で渡りきれない
- 片脚立ちで靴下がはけなくなった
- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難
- 家のやや重い仕事(布団の上げ下ろし等)が困難

*1つでもあてはまれば、ロコモの心配が…

健康寿命をのばそう!

平成24年度の日本人の平均寿命は、女性が**86.41歳**(世界1位)、男性は、**79.94歳**(世界5位)と、男女とも世界トップ5に入ります。平均寿命とは、0歳児が平均で何年生きられるかを表した統計値です。これに対して、**健康寿命とは日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存期間**をいい、平成22年度の統計では、日本人女性の健康寿命は**73.62歳**、日本人男性の健康寿命は、**70.42歳**です。つまり、女性は約**13年間**、男性は約**9年間**、日常的に介護を必要とする暮らしをしていることになります。そこで、秋葉厚生労働副大臣は、「**健康寿命をのばそう!**」と提唱しています。

① 毎日10分の運動を!

通勤時、苦しくならない程度のはや歩きで十分です。1日10分間の運動習慣で健康寿命をのばしましょう。

② 1日プラス100gの野菜を!

日本人の1日の平均野菜摂取量250gにプラス100gの野菜を食べましょう。

③ 禁煙の促進!

タバコを吸うことは、健康を損なうだけでなく、肌のあれにもつながります。タバコをやめて健康寿命を延ばしましょう。

秋葉厚生労働副大臣 Active Photography

秋葉厚生労働副大臣による記者会見

「医薬品・医療機器の産業ビジョン2013」を公開!

秋葉厚生労働副大臣が記者会見で公開した「医薬品産業ビジョン2013～創薬環境の国家間競争を勝ち抜くために、次元の違う取組を～」 「医療機器産業ビジョン2013～次元の違う取組で、優れた医療機器を迅速に世界の人々に届ける～」 。これは、医薬品、医療機器産業における中期的な目標を厚生労働省が描き示したもので、**数値目標の表示と副題は、秋葉副大臣のイニシアティブ**で実現しました。ポイントは次の通りです。

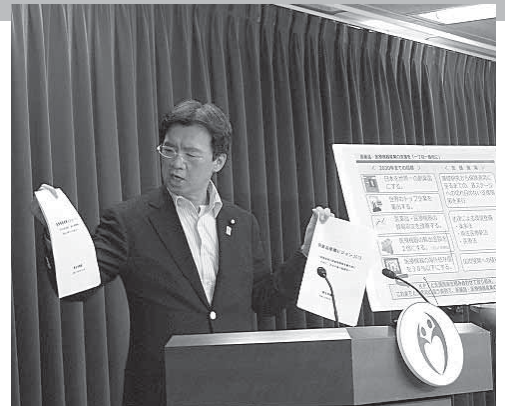
医薬品・医療機器産業ビジョン2013

I. 2030年までの(医薬品・医療機器産業の)目標

- 日本を世界一の創薬国にする(2012年、世界3位)。
- 世界のトップ企業を輩出する(2012年、医薬品国内トップの武田薬品工業でも世界12位、医療機器においては国内トップのテルモが、世界15位)。
- 医薬品・医療機器の貿易収支を改善する(2012年、医薬品・医療機器産業における貿易赤字約2,2兆円)。
- 医療機器の海外依存度を**30%以下**にする(2011年、海外製品への依存度が**44.4%**)。

II. 厚生労働省の支援策

- ◆ 薬事法、再生医療新法、医療法等、**法律による環境整備**
- ◆ 基礎研究から保険適用に至る各ステージで**支援施策を実施**



第49回 献血運動推進全国大会



7月5日、皇太子殿下ご臨席の下、福岡国際会議場で開催された『第49回献血運動推進全国大会』に、秋葉副大臣は厚生労働省を代表して出席、ご挨拶を致しました。



ホットブレイク

毎月、全国で5万5000部発行されているアパグループの情報誌『アップルタウン』のピクトークに、元谷代表と秋葉厚生労働副大臣の対談記事が掲載されました。実は、仙台にも2件あるアパホテルの元谷専務が、秋葉副大臣の大学の後輩にあたるのが縁でアパグループ様と親しくさせて頂いております。



新宿区戸山の『暮らしの保健室』を訪問

『暮らしの保健室』は、地域の皆さんの健康や介護等の相談窓口となっています(訪問看護師の秋山さんと)。



新宿区大久保の『NPO自立支援 ふるさとの会 新宿サポートセンター』を訪問



互助づくりを目的とする「ふるさとの会」では、認知症やがんになっても、家族やお金がなくても、地域で孤立せず、最期まで暮らせるためのコミュニティづくりを目指し、生活支援や居住支援を実施しておりました。

秋葉厚生労働副大臣
新宿区内の社会福祉関連施設を視察

第17回 障がい者技能競技みやぎ大会



第17回 障がい者技能競技みやぎ大会(アビリンピックみやぎ大会)

「第17回 障がい者技能競技みやぎ大会(アビリンピックみやぎ大会)」に、秋葉厚生労働副大臣が、出席させて頂きました。

障がいのある方が技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、その職業能力の向上を図るとともに、広く障がいのある方に対する理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的として、この大会は開催されており、今回は17回目の大会となりました。